

● 「札幌市青少年科学館」のリニューアルオープンについて

札幌市青少年科学館は、昨年 5 月から約 1 年間休館し、施設の耐震補強工事に合わせて、「宇宙・天文」分野の展示コーナーの更新や、山崎 直子名誉館長の助言を受けた国際宇宙ステーション (ISS) の日本実験棟「きぼう」の模型展示コーナーの設置などを行ってきました。

このほど、全ての工事が完了し、4 月 24 日にリニューアルオープン、前日の 4 月 23 日に記念式典を行うこととなりましたので、お知らせします。

1 リニューアルオープン

平成 26 年 4 月 24 日 (木) 9 : 30 ~

2 記念式典および内覧会

(1) 日時

4 月 23 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 00

(2) 会場

札幌市青少年科学館 2 階「天文・地球科学コーナー」前 (厚別区厚別中央 1 条 5 丁目)

(3) 概要

ふじわら 広昭札幌市議会副議長や上田市長によるあいさつの後、市内小学生からのメッセージ紹介や、テープカットを実施。式典終了後に出席者への内覧会を開催する。

3 展示更新について

(1) 2 階展示

これまでに設置していた「宇宙・天文」分野に「地学」分野の展示を加え、「天文・地球科学コーナー」(一部 3 階含む)として整備。直径 20 メートル、高さ 4 メートルのドーム正面側に地球北半球の衛星写真を展開。背面に地球の進化史を語る紀元となる 7 つの時代を示し、時代ごとの出来事をパネルで解説する。また、フロアを「宇宙ダイナミクス」「太陽系ダイナミクス」「地球ダイナミクス」「北海道ダイナミクス」の 4 つのテーマに分け、それぞれで体験型の展示を行う。



▲2 階展示室更新イメージ

① 主な展示例

ア 触れる地球（地球ダイナミクス）

半球形のディスプレイに内側から映像を投影するデジタル地球儀。

ディスプレイに触れて動かすと、その方向に映像も回転する。

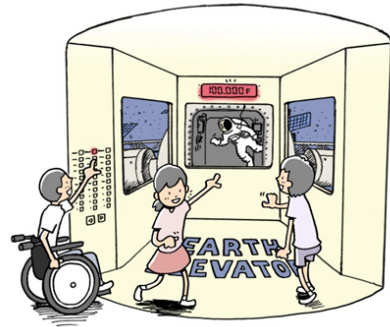
また、地球の昼と夜の姿や、地球温暖化、海面上昇の状況、クジラの回遊やコウノトリの足取りなどの表示のほか、東日本大震災時の地震と津波の状況を再現できる自動表示モードを備えている。

イ 地球エレベーター（北海道ダイナミクス）

行き先階ボタンを押すと、宇宙から地中までの迫力ある画像や映像を見ることができる。



▲「触れる地球」イメージ



▲「地球エレベーター」イメージ

(2) 3階展示

山崎 直子青少年科学館名誉館長からの助言を受け、国際宇宙ステーション（ISS）の日本実験棟「きぼう」の模型や実験の様子などを紹介する展示を新設した。

(3) 展示物更新費用

約 8 千万円



▲3階展示室更新イメージ

4 リニューアルオープン後の開催イベントについて

(1) サイエンジャーのワンダーランドGW

親子で頭と体を使って楽しめるイベント。魔法の板と呼ばれるフランスの積み木「カプラ」で遊べるコーナーや木の砂場などを設置。

① 期間：5月3日（土・祝）～6日（火・祝） 9：00～17：00

② 場所：青少年科学館2階「特別展示室」

(2) 科学館の工作室

工作講師の指導の下、科学の原理が隠れた工作を行う。

① 期間：4月27日（日）、29日（火・祝）、5月3日（土・祝）～6日（火・祝）、11日（日）、18日（日）、25日（日）

各日とも 10：50～、13：10～、14：20～。当日 9：30 から整理券を配布。

② 定員：各回 12 人

③ 場所：青少年科学館1階「工作室」

(3) 青少年科学館リニューアル記念講演会

① 開催日：7月28日（月）

② 場所：青少年科学館 ※調整中

③ 講演者：山崎 直子名誉館長

5 利用案内

(1) 観覧時間

5月～9月 9:00～17:00

10月～4月 9:30～16:30

(2) 休館日

毎週月曜日（他休館日有り）。GW期間中は無休。

(3) 観覧料金

こども（中学生以下）：展示室、プラネタリウムとも無料

大人：展示室 700 円、プラネタリウム 500 円（セット観覧券は 1,000 円）

6 報道機関向け内覧会

記念式典に先立ち、報道機関向けに内覧会を開催します。

日時：4月23日（水）10:00～12:00

※取材される場合は、事前に青少年科学館（電話：892-5001）にご連絡ください。また、当日は建物裏手の職員用通用口より入館ください。

<参考：施設概要>

所在地	厚別区厚別中央1条5丁目（電話：892-5001）
建物構造	鉄筋鉄骨コンクリート 地下1階、地上4階建て
建物延面積	10,017 m ²
展示室面積	2階 1,947 m ² 、3階 1,839 m ² 合計 3,786 m ² ※更新面積 合計約 750 m ² （全体の約 20%）
開館	昭和 56 年（1981 年）10 月 4 日
これまでの増築・改修・展示更新	平成 8 年度 第 2 期整備工事（休館：平成 8 年 11 月～平成 9 年 3 月） 平成 16 年度 プラネタリウム改修（休館：なし） 平成 21 年度 「ロボット」展示更新（休館：なし） 平成 22 年度 「環境」展示更新（休館：なし） 平成 23 年度 「雪・氷」展示更新（休館：なし）
年間観覧者数	366,679 人（平成 24 年度）
指定管理者	公益財団法人札幌市生涯学習振興財団

<参考：改修工事概要>

耐震改修として鉄筋コンクリート壁の増設などを行ったほか、外壁改修や電気・機械設備の更新等の保全工事と、屋上の太陽光発電設備を設置。（総工費約 9 億 8 千万円）

問い合わせ先

札幌市教育委員会生涯学習部生涯学習推進課 田中・那須野
電話：211-3871